



大阪大学考古学研究室

考古学を学ぶということ

考古学は、遺跡や遺物などの物質資料の分析を中心にして、人類の歴史や文化を研究する学問です。自らの手で人類の過去を掘り起こし、長期にわたる人類文化の展開を考える学生生活は、どのような道に進むにせよ、みなさんの将来にとってきっと有意義なものになるでしょう。

OSAKA UNIVERSITY
DEPARTMENT OF
ARCHAEOLOGY



歴史と研究活動



兵庫県長尾山古墳の調査にて



英国ストーンヘンジにて



発掘調査宿舍での一コマ

大阪大学考古学研究室は、開設が1988年と比較的新しいものの、それ以前の国史研究室時代からの調査・研究・教育の実績があります。

専任教員は、福永伸哉教授、高橋照彦准教授の2名です。

日本考古学に重点を置いた研究・教育を行っていますが、教員や大学院生は海外のフィールド調査にも手掛けて、比較考古学的な幅広い視点を探求しています。

研究室では、毎年実施する発掘調査とその資料整理を基礎とした教育を重視するとともに、とくに大学院では考古学や人文科学の討論にも力を入れ、国際的視野に立って日本考古学を推進しうる研究者の養成に努めています。

この研究室で研鑽を積んだ多くの卒業生・修了生は、すでに各地の大学、研究所、教育委員会、博物館などに勤務し、考古学研究の最前線で奮闘しているほか、学校、報道機関、様々な企業など、それぞれの分野で活躍しています。

主な就職先

就職(大学関係) 研究生としての在籍者も含む

- 大阪大学 ●福島大学 ●駒澤大学 ●埼玉大学 ●東海大学 ●明治大学
- 富山大学 ●京都府立大学 ●大阪大谷大学 ●奈良大学 ●岡山大学 ●鳥取大学
- 高知大学 ●熊本大学 ●鹿児島大学 ●韓国忠南大学校 ●韓国慶北大学校
- フランス国立東洋言語文化学院 等

就職(専門)

- 文化庁 ●宮内庁書陵部 ●奈良文化財研究所 ●奈良国立博物館 ●大阪府教育委員会
- 大阪府文化財センター ●京都府埋蔵文化財調査研究センター
- 奈良県立橿原考古学研究所 ●兵庫県まちづくり技術センター
- 和歌山県教育委員会 ●三重県教育委員会 ●石川県立歴史博物館
- 大分県埋蔵文化財センター ●元興寺文化財研究所 ●交野市教育委員会
- 名古屋市教育局 ●御所市教育委員会 ●桜井市教育委員会 ●赤穂市教育委員会
- 徳島市教育委員会 ●志摩市教育委員会 ●大田市教育委員会 ●嘉麻市教育委員会
- 平戸市文化遺産課 等

就職(一般)

- 国家公務員2種 ●吹田市 ●高槻市 ●宝塚市 ●奈良市 ●明石市
- 日本放送協会 ●朝日新聞 ●毎日新聞 ●読売新聞 ●共同通信
- 府立・県立高等学校 ●日本貨物鉄道 ●近畿日本鉄道株式会社
- 株式会社ゆうちょ銀行 ●日本漢字能力検定協会 ●滋賀銀行
- 富士通株式会社 ●愛知みなみ農業共同組合 ●アサヒ飲料株式会社
- 佐川急便 ●凸版印刷株式会社 ●海洋研究開発機構 等

研究室の発掘調査



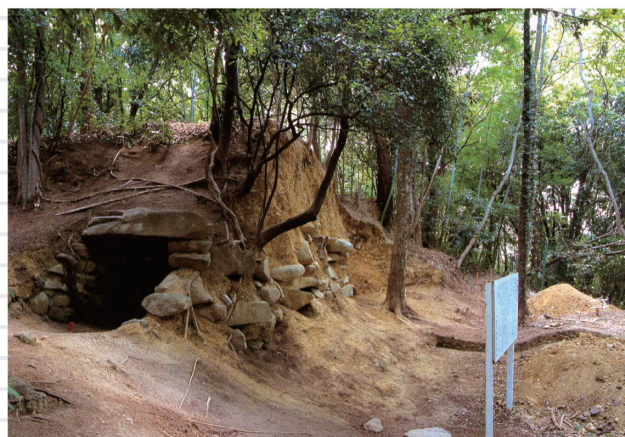
滋賀県雪野山古墳の発掘調査



京都府篠窯跡群大谷3号窯にて2基の窯跡



京都府井ノ内稲荷塚古墳における横穴式石室の検出



兵庫県勝福寺古墳の横穴式石室



兵庫県長尾山古墳にて粘土槨の発見



ゲミレル島遺跡(トルコ共和国)の発掘調査

主な学位論文

論文紹介

主な卒業論文

- 日本原始・古代の櫛の研究
- 剥片剥離技術からみた国府石器群の展開
- 石器組成からみた縄文時代の生業
- 墓域出土土器から見た弥生時代の葬送儀礼
- 西南四国における弥生土器の地域色
- 三遠地域における弥生土器の地域色とその背景
- 甕形土器から見た弥生時代後期の地域間関係
～西摂地域を中心に～
- 畿内における古墳出現期土器の展開
～摂津地域を対象として～
- 石器消滅過程の地域的様相
- 丹後型円筒埴輪の成立と展開
- 鉄鏃・銅鏃からみた弥生時代の地域性とその背景
- 粘土槨の展開過程とその画期
- 蓋形埴輪の系統と変遷
- 初期須恵器の受容と展開
～把手付碗に注目して～
- 古墳時代中期における初期群集墳の性格
～副葬された鉄製武器の分析を中心に～
- 古墳時代伊勢地方における煮炊具の変容
- 古墳時代後半期における鉄鏃の規格性とその背景
- 近畿地方における陶棺の生産・流通とその特質
- 千里丘陵における須恵器の生産とその流通
～高坏の分析を中心に～
- 棘付花弁形杏葉の編年と技術系譜
- 奈良時代における播磨国の須恵器生産
- 律令祭祀の地方受容
～木製祭祀具の形態分析から～
- 平安期における近江出土の施釉陶器
- 軒瓦からみた長岡京造営と平安遷都
- 平安時代における須恵器生産の展開
～近畿地方を中心として～
- 中世墓における埋葬姿勢の変遷とその背景
- 魚類遺存体から見た近世の生活について
～兵庫津遺跡の事例を中心に～

主な博士論文

- 三角縁神獣鏡の研究
- 日本列島先史時代の武器と戦い
- 伽耶の古代国家形成過程
- 弥生時代における武器の形成と展開
- 東北古墳時代社会の考古学的研究
- 弥生時代の土器と社会
- 国家形成期の武器と武装
- 古墳時代の埋葬原理と親族構造
- 弥生時代木製品の研究
- 弥生文化形成過程の研究
- 古墳時代の馬具生産
- 鉄製武器の流通と初期国家形成
- 奈良時代における王権と寺院造営
- 古墳時代における渡来文化の受容と政治権力

主な修士論文

- 原始古代における未成人埋葬の研究
- 弥生時代開始期における葬制の変化と地域的展開
- 弥生時代における武器の歴史的意義
- 器台形土器からみた古墳出現期の地域間関係
～鼓形器台を中心に～
- 古墳出現期の土器移動と地域間関係
- 古墳時代前期における器物生産体制とその特質
- 倭鏡の製作とその背景
- 古墳時代前期における埴輪受容過程の研究
- 古墳における土製品祭祀の成立と展開
- 貯蔵器種からみた初期須恵器生産の展開
- 古墳時代における軍事組織の形成過程
- 古市古墳群の形成過程とその比較考古学的研究
- 埴輪にみる畿内系要素の伝播と受容
- 形象埴輪の成立と地域的展開
- 古墳時代後期における地域支配構造とその特質
- 古墳出土須恵器からみた葬送儀礼の階層性とその背景
- 古墳時代後期における埴輪生産体制とその特質
- 畿内における古墳消滅過程の研究
- 飛鳥時代の金属製容器と土器様式
- 古代土師器生産の変質過程とその背景
- 平安時代初頭における須恵器の生産・供給体制



大阪府野中古墳出土の鉄製甲冑



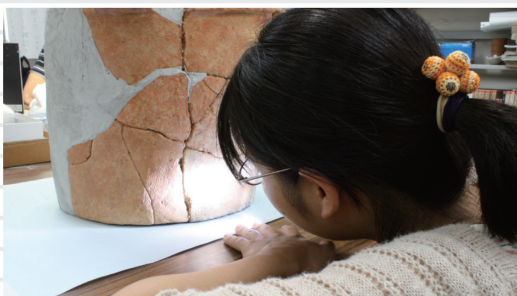
京都府大谷3号窯出土土器群



大阪府真名井古墳出土の三角縁神獣鏡



遺物検出の瞬間



埴輪の実測

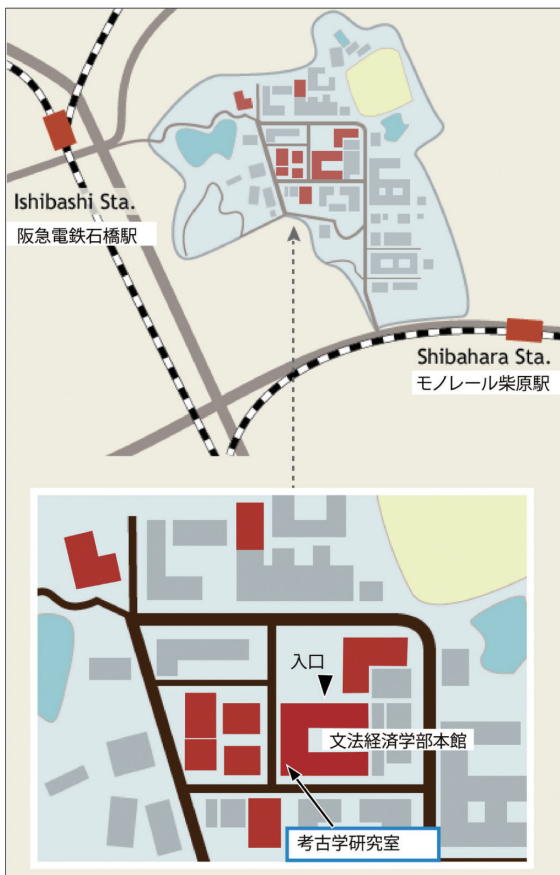
研究室の発掘調査

1961年	大阪府真名井古墳・ヌク谷北塚古墳・アリ山古墳
1962年	大阪府駒ヶ谷宮山古墳
1964年	大阪府野中古墳
1981年～1984年・1989年	京都府長法寺南原古墳
1987年～1988年	京都府鳥居前古墳
1989年～1992年	滋賀県雪野山古墳
1990年	大阪府桜井谷窯跡群2-23号窯跡
1993年～1997年	京都府井ノ内稻荷塚古墳
1998年	岐阜県昼飯大塚古墳
2000年～2004年	兵庫県勝福寺古墳
2004年～2006年	京都府篠窯跡群大谷3号窯
2007年～2011年	兵庫県長尾山古墳
2012年	待兼山古墳群(大阪大学豊中キャンパス構内)
2013年～	京都府篠窯跡群西山1号窯

研究室刊行の主要図書

出版年月日	図書名
1990年	鳥居前古墳－総括編－
1991年	桜井谷窯跡群2-23号窯跡
1992年	長法寺南原古墳の研究
1996年	雪野山古墳の研究
1999年	国家形成期の考古学－大阪大学考古学研究室10周年記念論集－
2005年	待兼山考古学論集－都出比呂志先生退任記念－
2005年	井ノ内稲荷塚古墳の研究
2007年	勝福寺古墳の研究
2010年	長尾山古墳発掘調査報告書
2010年	待兼山考古学論集Ⅱ－大阪大学考古学研究室20周年記念論集－
2012年	篠窯跡群大谷3号窯の研究
2014年	野中古墳と「倭の五王」の時代

アクセス



交通案内

- 阪急電車宝塚線・石橋駅(急行停車)下車
東へ徒歩約15分
- 大阪モノレール 柴原駅下車
徒歩約10分



大阪大学考古学研究室 (Osaka University Department of Archaeology)

所在地: 〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5 Tel&Fax: 06-6850-5106

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/kouko/>